

# 読者ひろば

## 黒石原奉安殿 文化財保護を

高谷和生 60

市民団体事務  
局長(玉名市)

1951(昭和26)年  
3月、黒石原開拓農業組

合員が電灯点灯記念式典を「黒石原奉安殿」の前で祝つてピア色の写真が残されている。戦前の皇民化教育の象徴であったこの奉安殿は、当区の戦後開拓の苦難の歴史と発展、平和の姿を69年間見続け、今その役割を突然終えようとしている。

合志市文化財保護委員会は「市指定文化財に足りぬ」と決定している。しかし、黒石原区では区臨時総会を開き、「多数決で奉安殿解体を決定した」という。これまで私たちは、合志中学校での地域の戦争遺産を生かした沖縄平和学習や地元郷

土史研究会での講演会などで、黒石原奉安殿の近代文化財としての重要性を伝えてきた。

あまりに急な区の解体決定に驚き、落胆している。黒石原奉安殿は、民間操縦士などを養成する全国17カ所につくられた旧通信省航空機乗員養成所のなかで唯一現存する歴史資料である。また現存する奉安殿では唯一現地にそのまま残っている。「教育勅語や御真影と深く関わる皇民化教育の実像を伝える教育遺産」でもある。

黒石原区の皆さま方には、まずは文化財として

の重要性に耳を傾けていただきたい。また、地元教育委員会は地域の文化財保護のため地区への説明会を開催していただきたい。「平和を歩く県内戦争遺産」の代表である黒石原奉安殿の終焉を、性急に決めてはならない。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は6000字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すことあります◇原稿は返却しません。二重投稿、採

### 投稿される方へ

否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。あて先は①郵送〒8600-8506、熊本市中央区世安町1-7-2、熊日「読者ひろば」係②ファクス 0996(363)12600③Eメール hiroba@kumamichi.co.jp